

# 平成14年産粗飼料の傾向

14年産粗飼料の栄養価について、分析結果より考察すると、収穫までの天候(低温、干ばつ)など様々な要因が影響していると思われます。

13年産は極端な傾向でしたが、14年産の平均値(表1)から見ても、例年に比べて少し変わった傾向が見られます。注目したいポイントは、乾草、牧草サイレージでは蛋白質、繊維、トウモロコシサイレージでは水分です。

## ●乾草(一番草)の傾向

14年産の平均値を見ると、粗蛋白質、総繊維(OCW)がこの3カ年のなかで、最も低くなっていることが分かります。

溶解性蛋白質(SIP)の値は例年と変わりないですが、粗蛋白質中の割合では平均値も高く、その分布を見ると、割合の高いものが多く分布しているのが分

表1 ここ3カ年の粗飼料の平均値

水分	粗蛋白	UIP/CP	SIP/CP	TDN	ADF	OCW	NFC	粗脂肪
乾草								
平成14年	19.9	8.3	40.9	31.7	52.7	39.1	66.6	17.5
平成13年	16.5	9.2	43.0	27.3	50.7	40.9	69.6	13.8
平成12年	14.6	9.5	42.8	25.4	52.2	40.5	69.1	15.0
ロールバックサイレージ								
平成14年	44.8	10.3	36.0	51.2	55.4	35.8	64.3	16.5
平成13年	43.6	11.2	38.0	47.6	55.0	36.5	65.4	14.9
平成12年	40.6	11.2	37.4	47.2	55.7	37.0	65.3	15.8
牧草サイレージ								
平成14年	73.3	12.8	34.7	53.3	54.9	37.2	63.5	13.3
平成13年	74.4	13.8	36.8	50.9	54.4	37.9	64.5	11.4
平成12年	73.0	13.6	39.0	49.9	53.9	38.5	65.6	11.0
トウモロコシサイレージ								
平成14年	74.3	8.9	26.7	39.6	67.2	30.4	49.3	33.7
平成13年	73.9	8.9	26.3	40.3	66.2	30.5	50.7	32.3
平成12年	70.1	8.9	26.4	39.8	66.4	30.2	48.8	35.1

水分以外は乾物中%

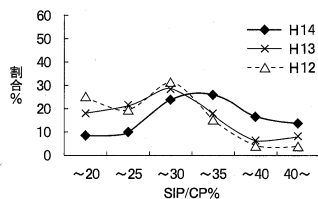


図1 乾草中のSIP/CP%分布

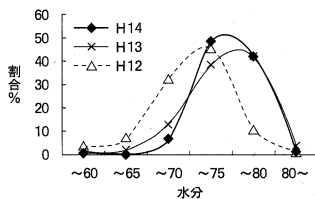


図2 トウモロコシサイレージの水分分布

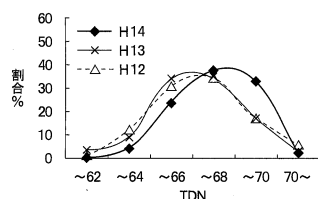


図3 トウモロコシサイレージのTDN分布

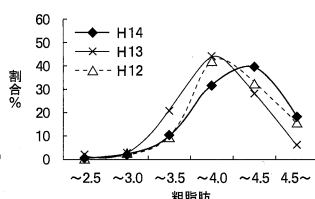


図4 トウモロコシサイレージの粗脂肪分布

かります(図1)。

## ●牧草サイレージの傾向

乾草と同様に14年産は、粗蛋白質、総繊維(OCW)が低く、総繊維が70%を超えるものが少ないようです。

蛋白質の内容も、乾草と同様に溶解性蛋白質(SIP)の割合が高く、更に非分解性蛋白質(UIP)の割合の低いものが多いことが特徴です。

ロールバックサイレージでも同様な傾向・特徴が見られています。

## ●トウモロコシサイレージの傾向

13年産は実入りも悪く、水分が高かった様に思います。現在、通年の3割程度の点数しか分析していませんが、14年産の実入りは良いと思われ、粗脂肪やTDNの高いものが多いようです(図3、4)。

水分は、収穫期の天候が安定しなかったことから、

13年産よりも更に水分が高い傾向を示しています(図2)。

## ●まとめ

14年産の粗飼料は、春先の低温や干ばつ等、様々な要因から牧草サイレージや乾草の原料となる一番草に特徴があったように思います。給与に際しては、特に粗蛋白質が低い傾向もありますので、併給する配合飼料などの蛋白質レベルをうまく調整することが必要となるでしょう。

トウモロコシサイレージについては、13年産と同様に水分が高い

ことから、乾物摂取量が思ったより少なくなることが予想されます。

このように、牧草では蛋白質、トウモロコシでは水分といったように、粗飼料の中身を大きく左右する項目で例年とは違った傾向が見られています。粗飼料分析をおこない、その中身をしっかりと把握することが重要なポイントとなるでしょう。

(北研 篠田)

**雪印種苗株式会社**

編集発行人 菊地 庸

本社 004-8531 札幌市厚別区上野幌 一条五丁目一番八号

TEL (011) 891-1591

FAX (011) 891-1574